

教科名	国語	科目	国語	授業時間	3時間
-----	----	----	----	------	-----

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新しい国語 1」（東京書籍）

副教材：「新しい国語 新出漢字の学習 1」（東京書籍）

：「よくわかる国語の学習 1」（明治図書）

：「国語便覧 千葉県版」（浜島書店）

問題集：「錬成テキスト中 1」（育伸社）

2. 授業の目標および内容

「読む」「書く」「話す・聞く」という言語活動を通して豊かな人格の形成を目指すとともに、日本語を主体的に活用する力を育みます。また、古典文学作品に触れることで、日本の言語文化に対する理解を深めます。また、各種小テストを実施することで語彙力の定着を図ります。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

※内容・難易度について

① 定期試験：教科書・副教材・問題集・プリントなどで、問題を作成します。

4. 課題・補習について

夏期休業中の課題は、問題集や、作文、読書感想文の提出などです。

5. 評価の視点

定期試験を元に、小テスト、ノート提出などを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	①話し方はどうかな ①詩の心—発見の喜び ①風の五線譜 ②飛べ かもめ ②さんちき	○効果的な話し方を知り、読む速さを意識して声に出して文章を読む。 ○修辞法について体系的に学習し、言葉の意味を的確に捉え、詩を音読して読み味わう。 ○詩を鑑賞し、ものの見方を広げる。 ○詩を作り、互いに鑑賞する。 ○場面の様子や登場人物の思いに注意して、作品を読み味わう。 ○小説読解に必要な基礎的な視点を学ぶ。	* 詩の修辞法に関する小テストを実施し、表現力を高める。 * 各種小テストを実施し、語彙を豊かにする。
2	①オオカミを見る目 ①私のタンポポ研究 ②移り行く 浦島太郎の物語 ②いろは歌 ②竹取物語 ②矛盾	○同値と対比（空間・時間）の関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ○接続語や指示語を理解し、段落の役割や段落同士の関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ○原因と結果、意見と根拠などに注目して、筆者の意見を読み取る。 ○古典にはさまざまな背景があることを知り、古典に対する興味や関心を育む。 ○現代語とは異なる仮名遣いや言葉に注意して、古文を読み味わう。 ○作品世界と現代とのつながりを考える。 ○漢文特有のリズムを味わい、訓読に必要な決まりを知る。	* 小テストを実施し、語彙を豊かにする。
3	少年の日の思い出 ニュースの見方を考えよう	○人物の心情や行動の意味を理解し、作品の大きな構成や主題をとらえる。 ○ニュースの見方について自分の考えを持つ。目的に応じて情報を選択して用いることができるようになる。	* 小テストを実施し、語彙を豊かにする。